

## 第5学年 外国語科学習指導案

令和5年10月18日(水)

第5校時 13時50分～14時35分

5年1組 22名

指導者 河野 裕之

ANKRAH Eric Tackie Tawiah (ガーナ出身 NPO 九州海外協力協会)  
CHINYANGARARA Peular Naome (ジンバブエ出身 NPO 九州海外協力協会)

### 1. 単元名 外国の人に自分が好きなランチメニューを紹介しよう (*Junior Sunshine 5 Lesson8 What would you like?*)

### 2. 単元について

#### (1) 児童について

本学級の児童は、自分の考えを全体に発表しようとする児童が増えてきたが、一方で、ペアやグループ活動において、中心的な児童の意見に流され、自分の考え発表できない児童もいる。

また、9月に行った NPO 九州海外協力協会の JICA 外国人研修員との交流を通して、英語を聞くことや話すことの良さを実感しているが、日常的に英語で話す場面や経験値が少ないため、相手に伝えることに不安を持っている児童も見られる。令和4年度に実施した英検 ESG の結果を見ると、4技能全てにおいてスコアが上昇しており、外国語の授業改善が進んでいることが分かる。しかし、「聞くこと」について児童のスコア分布を見ると、二極化の傾向があることが分かる。このことから、英語を使ったコミュニケーションに不安を持つ児童がいることが考えられる。本単元では、他の教科・領域において学習した内容とつなげながら関連する英語表現に触れる機会を増やしたり、ゲーム的要素を持つ活動や ICT を取り入れた活動をしたりすることによって、英語で話すことへの不安感や苦手意識を減らし、意欲を持って取り組むよう支援したい。

#### (2) 教材について

本単元では、自分の作ったランチメニューを友人と伝え合ったり、ALT や JICA 外国人研修員に紹介したりする。本学級の子どもたちは食べるのが大好きであることから、互いに自分の好きなものを英語で表現し紹介することで、既習事項や慣れ親しんだ表現や語彙を使いながら、コミュニケーションをとることの楽しさや必要性を経験することができる教材であると考え。また、総合的な学習や社会科等との横断的な学びができる単元でもある。

言語材料は、日常的に耳にする食べ物や飲み物の名前を扱っており、外来語として定着しているものも多く、児童にとって身近で、聞き取りやすい語句となっている。また、*What would you like? I'd like ~.* は、自分の好きなランチメニューを作るために、友だちや外国の人 (NPO 九州海外協力協会の JICA 外国人研修員と ALT) と考えの交流をする活動において、欲しい食べ物を尋ねたり答えたりすることができる表現である。

#### (3) 指導について

本単元における言語活動のゴールを「自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など簡単な語句や基本的な表現を聞き取ったり、欲しい食べ物について伝え合ったりすることができる。」と設定し、導入では JICA 外国人研修員に自国のランチメニューを紹介してもらい、児童に単元の見通しを持たせたい。自分の好きなランチメニューを考える場面では、単に好きな食べ物を選ぶだけでなく、3大食品群に分けて栄養的にバランスのとれた食事を考えさせる要素を加えている。身近な給食を中心に考えさせたり、ゲーム的要素を持つ活動取り入れたりして苦手意識のある児童も意欲的に取り組めるよう支援したい。また、総合的な学習の時間に世界の国々と日本の食べ物や食生活と比較して気づいたことや、給食に使われている県産・国産だけでなく外国産の食材について栄養士から学んだことを想起させることにより、外国の食について視野を広げ、異なる食文化への興味を引き出し、本単元の思考力・判断力・表現力の育成につなげたい。

### 3. 単元目標

自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり、相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など簡単な語句や基本的な表現を聞き取ったり、欲しい食べ物について伝え合ったりすることができるようにする。

### 4. 関連する学習指導要領における関係する領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
話すこと 〔やり取り〕	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

### 5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 食べ物や飲み物の言い方や、What would you like? I'd like ～. など欲しい食べ物の尋ね方、答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取る技能を身に付けている。</p>	相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
話すこと 〔やり取り〕	<p>〈知識〉 食べ物や飲み物の言い方や、What would you like? I'd like ～. など欲しい食べ物の尋ね方、答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 食べ物や飲み物の言い方や、欲しい食べ物について What would you like? I'd like ～. 等を用いて、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合う技能を身に付けている。</p>	自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合っている。	自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合おうとしている。

### 6. 指導と評価の計画（全9時間）

時	学習活動	評価			評価規準【評価方法】
		知技	思判表	態度	
1	いろいろな国のランチメニューを見て、単元の見通しを持つ (NPO 九州海外協力協会の JICA 外国人研修員)			○	(聞・態) 相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。【行動観察】

2	食べ物や飲み物の名前に慣れ親しみ、世界の食べ物に興味を持つ			○	(聞・態) 相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。【行動観察】
3	食べ物カードを使って、食材をもらったり渡したりする表現に慣れる		○	○	(話・思) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合っている。【行動観察】 (聞・技) 食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取る技能を身に付けている。 【行動観察・ロイロノート】
4	いろいろな国のランチメニューを見て、自分の国のランチメニューと見比べる (フォトランゲージ、フリーボード、ロイロノート)		◎	◎	(聞・思) 相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。【行動観察・振り返りデータ分析】 (聞・態) 相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】
5 6 7	グループになって、主食・主菜・副菜・デザートの中から、好きな食材を考える (フリーボード、ロイロノート)	◎	◎	◎	(聞・技) 食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取る技能を身に付けている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】 (聞・思) 相手の作ったランチメニューを知ったりするために、食べ物や飲み物など、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】 (話・思) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合っている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】 (話・態) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合おうとしている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】
8 (本時)	自分で考えたランチメニューを完成させるために、友だちや外国の人と交流する (NPO 九州海外協力協会の外国人研修員、ALT) (ロイロノート)	◎	◎		(話・知) 食べ物や飲み物の言い方や、What would you like? I'd like ~. など欲しい食べ物の尋ね方、答え方について理解している。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】 (話・思) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合っている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】
9	自分たちの考えたランチメニューを、ZOOM を使って、外国の人に伝える (ロイロノート、Keynote、ZOOM)		◎	◎	(話・思) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合っている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】 (話・態) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合おうとしている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】

## 7. 本時の指導

(1) 題目 What would you like?

(2) ねらい 自分が作ったランチメニューについて、友だちや外国の人とランチメニューの中に入れる物(イラストや写真)をあげたりもらったりする活動を通して、質問したり答えたりすることができるようにする。

(3) 展開 (8/9)

学習活動	支 援	備考・評価
<p>1. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする (1分)</li> </ul> <p>2. Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Small Talk (3分)</li> </ul>	<p>○全体に挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天気、曜日、月日を尋ねる。</li> </ul> <p>○既習事項を使って、友だちと Small Talk を行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師が児童とやり取りをしながら話題を投げかけ、児童に解答させる。</li> <li>発音に自信がない児童には、一緒に確認をする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Q: What would you like? A: I'd like ~.</p> </div> <p>○自分のランチメニューを完成させるために、友だちや外国の人が考えたランチメニューのお店に行って、既習の英語を使って、質問したり尋ねたりすることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主食、主菜、副菜・デザートなどバランスの取れたランチメニューが望ましいが、強制はしないことを伝える。</li> </ul>	
<p><b>Today's goal</b> ランチメニューを完成させるために、友だちや外国の人と交流しよう</p>		
<p>3. Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>めあて及び本時の流れを確認する (3分)</li> </ul> <p>4. Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時で使う表現を確認し、練習する (5分)</li> </ul> <p>5. Let's play</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パネルディスカッション形式で、買い物をする (25分)</li> </ul>	<p>○尋ね方や答え方について復習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>難しい表現や不安なところを重点的に練習させる。</li> <li>場合によっては、ペアになって交互に練習させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Q: What would you like? A: I'd like ~.</p> <p>Q: What is this? A: This is ~.</p> </div> <p>○やり取りの時のポイント①反応、②返答を確認し、意識をさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>①反応 ②返答 ③声の大きさ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>反応と返答をしっかり行わせることで、対話ができることをおさえる。</li> <li>③声の大きさについては、今回のポイントである①②が実践出来たらステップアップのポイントとであることを伝える</li> <li>パネル形式で、2つのグループに分かれ、ランチメニュー(空きが6カ所)の中に入れてほしい物を、あげる側ともらう側に分かれて交流をする。</li> <li>あらかじめ主食・主菜・副菜・デザートของกลุ่มに分けておく。</li> <li>ブースに立つ児童は、どんな食材かを答えられるようにしておく。</li> <li>NPO九州海外協力協会の外国人研修員やALTにもブースに</li> </ul>	<p>(話・知) 食べ物や飲み物の言い方や、<b>What would you like? I'd like ~.</b> など欲しい食べ物の尋ね方、答え方について理解している。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】</p> <p>(話・思) 自分の作ったランチメニューを友人や外国の人に紹介したり相手の作ったランチメニューを知ったりするために、欲しい食べ物などについて伝え合っている。【行動観察・振り返りデータ分析・ロイロノート】</p>

<p>6. Reflection</p> <p>・活動の振り返りをする (7分)</p>	<p>立ってもらい、事前に用意しておいたランチメニューの写真を使い、児童とのやり取りをしてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時間を区切り（10分）、交流が上手だった児童を尋ねる。</li> <li>・交流の仕方やポイントをしっかりと伝え、上手にやり取りをしていた児童の場面から、積極的に表現を伝えようとしたことを中間評価するとともに、その時の言い方を教える。 「どんな味ですか？」 What does it taste like? 「人気がありますか？」 Popular? 「辛い?」「甘い?」「酸っぱい?」「塩辛い?」 Spicy?/Hot?/Sweet?/Sour?/Salty? 等の表現</li> <li>・友達とのやり取りで積極的に反応や返答をしていた児童を認め、実際行われていた反応や返答の具体を全体に紹介する。</li> <li>・最後に完成したランチメニューをロイロノートの提出箱に全員提出させる。</li> </ul> <p>○4つの視点（わたがし）から、作ったランチボックスをみんなに紹介する。 （わ）わかったこと （た）楽しかったこと （が）頑張ったこと （し）知りたいこと、調べたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表する児童のランチメニューをTVモニターに映し、振り返りを数人にさせる。</li> <li>・「〇〇ランチメニュー」のように名前をつけさせて、4つの視点から発言させる。</li> <li>・「反応」のよさや意識し、「返答」が積極的にできたことについて記述しているものを選び、褒めて次時へつなぐ。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が話したことを相手が頷きながら聞いてくれて嬉しかった</li> <li>・相手が笑顔で反応してくれたのが嬉しかった</li> <li>・聞くときに反応するよう気を付けた</li> <li>・友達やスペシャルゲストと英語でのやり取りを頑張った 等</li> </ul> <p><b>【返答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたことにはっきり答えてくれたのでわかりやすかった</li> <li>・はっきり自分の考えを伝えるよう意識した（頑張った）</li> <li>・聞かれたことにもっと返答できるようになりたい 等</li> </ul> </div>	<p>ロイロノート</p>
<p>7. Greeting</p> <p>・挨拶をする (1分)</p>	<p>○全体に終わりの挨拶をする。</p>	